町民文芸

茂岩俳句会

そぞろ寒母の形見のベスト着る　甘粕恵美子
凧の先ゆく孫を追いかけて　長﨑あけみ
小六月猫が伸びする石だたみ　上地絹子
秋日和杖つく夫に歩を合わせ　松井テル子
逝きし人思い出させよ冬銀河　門馬英寿
変わりゆく地球見下ろす冬の月　脇坂信一
文化祭菊に佇む余白の美　神　直子
車窓からカメラを向ける冬紅葉　中島喜代美
枯葉の木喪服の人等寺の前　畑中幸二
痛くても嬉し楽しい栗拾い　野田のり子
立冬や思はず洩らす深き息　中屋吟月

豊寿文芸

山荘は紅葉黄葉でにぎわいて　海富智恵
黄金色菊刈り取りて積む香　前川ひとみ
公園の落葉かき寄せドンと積む　上田知子
塩引きの魚もらって飯鮨漬け　垣内順子
初恋を歌う八十路の文化祭　福井一浩
松茸は身体に毒とレジぬける　伊藤泰山
今朝の秋パジャマのままの白湯旨し　徳田則子
童ら紡ぐ豊頃太鼓豊の秋　高嶋恵美子
編み物も話も尽きぬ夜長かな　津久井美保子
懸命に鮭呼ぶ灯台大津浜　西本牧童

豊頃の台所事情

令和６年度の会計決算がまとまりました。

町の決算は４月から翌年の３月までの１年間、私たちのまちにどれだけの収入があり、そのお金を何に使ったのかを表す、いわゆる町の家計簿のようなものです。

この決算内容は９月の町議会で審議され、一般会計のほか４つの特別会計、２つの事業会計を含む全ての会計が認定されました。昨年度、皆さんの納めた税金などがどのように使われたのかをお知らせします。

決算ってなんだろう？

豊頃町の一般会計の財政規模

決算とは、一会計年度（公共団体の場合は４月から翌年の３月まで）の歳入（収入）・歳出（支出）について、予算と実績を対比して確定することにより今現在の財政状況は一体どうなっているのかを把握するために行います。決算は、会計ごとに行われます。

会計には
それぞれ「歳入（収入）」と「歳出（支出）」があります。

歳入（収入）

税金（町税）、使用料･手数料、地方交付税、町債など

歳出（支出）

道路の整備や維持、医療・福祉制度の運営、産業の振興、借金（町債）の返済など

豊頃町には
「一般会計」と４つの「特別会計」、２つの「事業会計」があります。

一般会計

教育や福祉、道路整備、防災など住民の暮らしを日常的に支える基盤的な行政サービスに必要な費用をまとめて管理する会計で、町政運営の基本となる会計

事業会計

令和６年度から始まった独立採算による特定事業の会計で、簡易水道、公共下水道の2つの会計があります。

特別会計

一般会計とは区別され、独立した特定事業の会計で、豊頃町には、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、医療施設の4つの会計があります。

町民一人あたりの借金（町債）と貯金（基金）はどのくらい？

借金

町民一人あたり
275 万円

借金現在高　77 億 9,129 万円

借金（町債）の残高は前年度より**約 2 億 8,676 万円減少**しました。町債については今後も最小限の借り入れに努め、借金残高の抑制を図ります。

貯金

町民一人あたり
216 万円

貯金現在高　61 億 1,031 万円

貯金（基金）の残高は、前年度から経費削減等の効果により**1 億 3,928 万円増加**しました。

今後も適正な経費管理を徹底し、基金の健全な維持・運営に努めます。

※「財政規模」及び「現在高」は令和６年度決算数値により算出しています。
※「町民一人あたり」は令和７年３月 31 日現在の住民基本台帳人口（2,833 人）により算出しています。